

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
情報処理実習Ⅱ	笠 浩一郎	実習	1		4	4	1,3
授業概要 授業目的	現在、情報をもとに問題解決に取り組む能力が社会で求められている。本講義では、問題解決能力で必要となる情報の収集、情報の分析、情報の可視化に関する基礎知識や基本操作を習得することを目的とする。講義の前半では、Excelを用いて、データ分析やデータの可視化（表やグラフの作成）を行う。講義の後半では、RESAS（地域経済分析システム）を利用して、情報の収集、分析について学ぶ。						
到達目標	問題解決能力で必要となる情報の収集、情報の分析、情報の可視化に関する基礎知識や基本操作を習得することを到達目標とする。						
回	学習内容						
1	情報処理演習室の利用方法とコンピュータの基本操作						
2	Excelの基本操作(データの入力、表の作成、基本的な関数)						
3	Excelの応用1(統計的な関数、プルダウンメニュー)						
4	Excelの応用2(日付関数、INDIRECT関数)						
5	Excelの応用3(SUMIFS関数、COUNTIFS関数、IFERROR関数)						
6	Excelの応用4(グラフ作成の応用、データの可視化)						
7	Excelの応用5(データベース、クロス集計、ピボットテーブル)						
8	中間課題						
9	RESASの基本操作1(RESASを用いたデータ収集)						
10	RESASの基本操作2(RESASを用いたデータ分析)						
11	最終課題の作成1(最終課題の内容説明、分析の模式図の作成)						
12	最終課題の作成2(分析の模式図の修正と発表資料の作成)						
13	最終課題の作成3(発表資料の作成)						
14	最終課題の発表						
15	最終課題の発表と本講義のまとめ						
予習内容 復習内容	授業前に情報処理実習Ⅰの復習などをして予習しておくこと。 毎回の小課題は授業内だけでは終わらないので、授業外でも課題に取り組むこと。						
教科書	適宜資料を配布する。						
成績評価	小課題（30%）、中間課題（20%）、最終課題（50%）						
実務経験	なし						
その他 特記事項	パソコン操作に不慣れな人は、予習と復習を積極的に取り組むこと。 情報処理実習Ⅰを履修済みであることが望ましい。						